

A-46 アミノ酸インバランスに及ぼす核酸関連物質の影響
郡山女大 家政 広井 勝

目的 低カゼイン食に0.3%のMetを添加して生じるアミノ酸インバランスに対し核酸関連物質がどのような影響を及ぼすかを明らかにするために本実験を行った。

方法 香翰系オス白ネズミを使用し、8%カゼイン飼料に0.3%のMetを添加した群を対照(Met群)とし、これに更に1%オロチン酸を添加した群(O.A群)、及び1%5'EMP-Naを添加した群(E.M.P群)を用い、17日間飼育し、成長、血中、肝臓脂質含量、尿中窒素成分(アラントイン、クレアチニン)、肝臓脂肪酸組成等を調べた。

結果 成長はO.A群が若干劣っていた。血清脂質含量は全エステル型脂肪酸、コレステロール、リン脂質等、O.A群はMet群の半量に減少していた。肝臓脂質量はいずれの群も20%以上を示しており、脂肪肝と存していたが、特にO.A群では60%近くと異常な蓄積を示していた。窒素の利用率はE.M.P群はMet群とほとんど差がなかったが、O.A群では低下がみられた。尿中のクレアチニンの総量は3群間に変化はなかったが、全窒素に対する比率で示すと、O.A群で低下していた。尿中のアラントインはE.M.P群で高値を示し、O.A群で低値を示していた。肝臓脂肪酸組成はO.A群でC_{18:2}が増え、C_{20:4}が減少していた。